

## マップを持って観察会 吉田山

日時：2020 年 12 月 4 日（木）

場所：吉田山

天候：晴れ

参加人数：15 名

noi-kyoto の自然観察会も再来年 200 回を迎えます。一時は観察会に参加するスタッフが極端に少なくなったこともありましたが、けれど今は毎回スタッフだけでも 15 人前後が参加しています。この状況を続けていくために、観察会の下見や本番、年に一回の宿泊を伴う観察会や依頼を受けてする指導者の派遣以外で、メンバーが楽しめる観察会を開いてはどうかという話が 11 月の運営委員会で出ました。何をするかと考えた時に、2003 年に自然観察指導員京都連絡会が出したマップ（『京都府自然観察地図』）があるからこれを使って観察会を開いたらどうかと提案がありました。20 年前と今とではどのように変わっているか見ていくのは面白いのではと。うれしいことに運営委員の中にはこのマップ作製をした人たちがいるのです。作成時の話をいつでも聞けます。

今回は市内で参加しやすい吉田山を第一回観察場所に選び、12 月 4 日マップを持って観察会を開きました。京都市内では 2017 年と 2018 年に台風の大きな被害がありました。現在は片付けが終っているのですが、その当時はたくさんの木が倒れました。結構変化はあると思います。参加者がデジタルデータからプリントアウトしたマップを用意してくださっていました。吉田神社の参道入口に集合して出発です。参加者 15 名。参道には左手にカラタチの垣根が続きます。以前の観察会で下見の時には蝶の幼虫がいるのを確認していたにもかかわらず、本番の時にはすっかり剪定されていてがっかりしたことを思い出しました。右手に大きな切り株を見つけました。マップのエノキだと思われま。石段を上って行きます。右手のタラヨウがありません。吉田神社の前を右手に道をとります。左右に様々な樹木が現れます。大元宮前の大きなエノキのところに到着。ここからは紅もゆる歌碑道をのぼります。少しのぼると明るくなるのは倒木のせいでしょうか。桜の若木が植えられているのが目につきます。三角点を通



サカキの木の高さにびっくり



カナメモチ



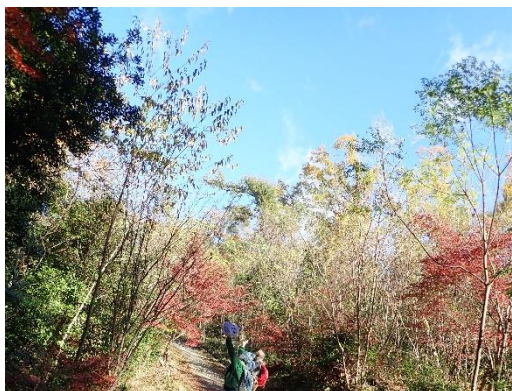
地図に書き込んでいきます

り、山頂展望台へ。大文字が間近に見えると絵入りで説明があります。今出川通りが見える所まで下り、再度左からのぼります。眺望のいい所には👁マーク（うまくできているな）。観察コース以外の吉田山西側の部分にもたくさんの木のマークが記入されています。吉田神社前まで戻り解散しました。

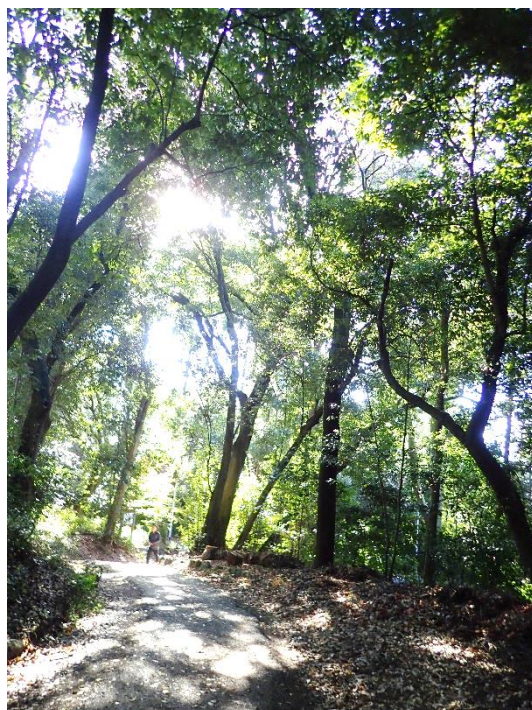
終了後、マップ作製にかかわった人の話を聞きました。「大変やったんやからね。」いつもは穏やかな方の声でした。住宅地図をルートにあわせて何枚も用意し、位置を確認しながら樹木のマークをしるしていく。適当に記入することではありません。何を入れるかを決めるだけでも大変です。その前にはどこに何があるかを見てまわる作業があります。最終的には A3 にあわせてルートを決め、サイズを調整して地図を作り上げていく。話を聞いて、たくさんの方達の積み上げられた仕事があって出来上がったのだとよくわかりました。

マップには 20 ルートがあります。これを月に一回のペースで見て行こうと話が進んでいます。季節によって同じルートでも動植物の状況は様々です。冬に観察が可能な所もあれば、冬ではほとんど見るものがなく春にこそ出かけたい場所もあります。これからの予定として 1 月に宝が池公園、2 月に宇治大吉山～朝日山、3 月に三川合流点などが候補に挙がっています。

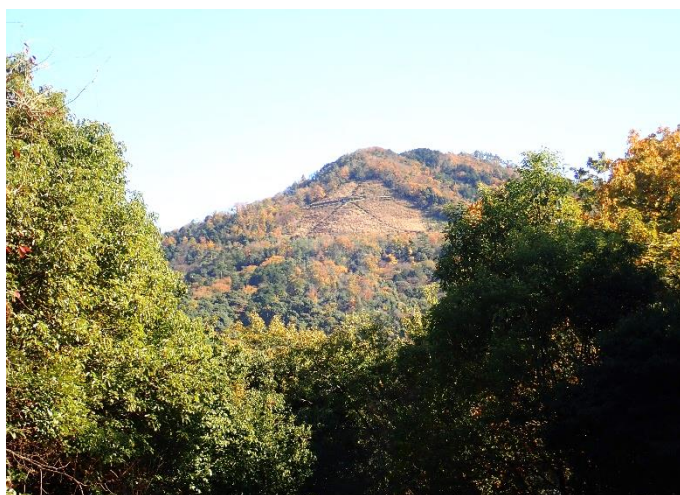
（文責 海老原）



倒木のためか頂上付近は急に明るい



木漏れ日がきれい



大文字山がきれいにみえました



地図を見ながらの観察は  
道しるべも必要です